



隈府小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 隈府小
～ 明日が楽しみな学校をめざして ～」

隈府小学校
学校だより No.18
文責 芹川博文
9月 11 日(金)

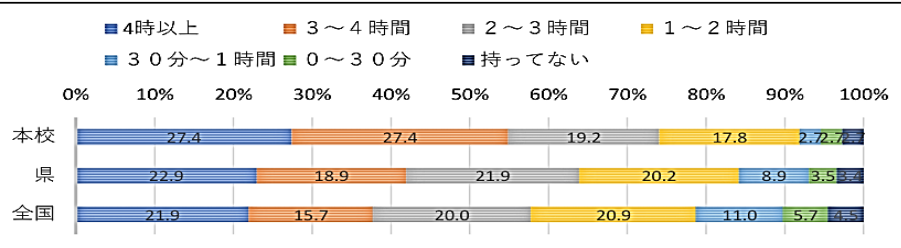
子どもたちの「生活習慣」が危ない ～ 平日「3時間以上 SNS や動画視聴」が半数以上の現実 ～

心配はしていましたが、正直ここまでとは思いませんでした。全学調の質問紙調査で、SNS や動画視聴の時間が、平日半数以上が3時間以上、4人中3人は2時間以上という結果。熊本県平均よりも、全国平均よりも、かなり深刻な状況です。

近年、諸外国やアメリカのいくつかの州で、若者の SNS 規制が法制化されつつあります。それほど危険性があるとも言え、時間を決めた使用が不可欠です。

普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム、テレビ等で SNS や動画視聴などをしますか。

	4時以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	0～30分	持っていない
本校	27.4	27.4	19.2	17.8	2.7	2.7	2.7
県	22.9	18.9	21.9	20.2	8.9	3.5	3.4
全国	21.9	15.7	20.0	20.9	11.0	5.7	4.5



ちょっと怖い話 「ブレインロット」と「レイジバイト」

「ブレインロット」は、「脳が腐る・溶ける」というイメージの言葉で、意味は薄いのに見続けてしまい、脳が疲れてボーっとするような状態や、その種のコンテンツをさす言葉です。

「レイジバイト」とは、「怒りのエサ」というイメージの言葉で、人の怒りや反感を誘って反応を集めるコンテンツです。短く、強く、感情を揺さぶる情報は、子どもの注意を惹きつけやすく、退屈を感じる前に刺激が届き、気づけば時間がどんどん過ぎていきます。

自動再生、短縮動画、ランキング、友達とのつながりなどにより、中断をますます難しくします。

秋の夜長にいかが？ 改めて感じる「本の良さ」

～ 図書委員会の児童集会発表から ～

改めて子どもたちにとって「本の力」「本の良さ」が伝わってきました。今週の児童集会（図書委員会発表）では沢山の驚きがありました。例えば入学以来の貸し出し冊数第1位は、なんと1700冊以上とのこと。ちなみに5年生の男子です。また、隈府小



児童で人気のシリーズは、「しずくちゃんシリーズ」。三択問題で多くの人が予想したとおりで、大歓声が上がりました。司書の末永先生曰く、「隈府小には、現在このシリーズが15冊くらいありますが、どれも5～8人の『待ち』状態です」とのこと。超人気ぶりが伝わってきました。末永先生が子どもの頃からあり、可愛さだけでなく、ストーリーの面白さもあるとのことでした。

隈府小学校の児童は、1～6年生まで、週に1回は図書室に行って3冊程の本を返却し新しく借りる流れが来ています。これは、本に親しむ上で素晴らしい仕組みだと感じます。今後デジタルの流れはどんどん加速することでしょう。しかし、本の良さは健在です。いや、デジタルの時代だからこそ、想像力や読解力など、その価値が一層際立つのかもしれない。

これから迎える秋の夜長の季節。虫の音を聞きながら、ページをめくる静かな時間を、是非味わいたいものです。たまには、親子やご家族で、いかがでしょうか。